

伊勢河崎商家リノベーションプロジェクト

活動開始(会議)

「水野商店」さん清掃、だいど
こ市に向けて会議

空き家調査。だいどこ市
(1回目)

だいどこ市(2回目)

2017

6

9

11

12

◆今年度の活動を振り返って(成果と課題)

今年は「水野商店」さんが今年で履物屋をおやめになるという事で、学生達で清掃活動を行い、清掃活動をして下駄やスリッパ等の履物と大量の割箸が出てきたので、大学に帰って商人市に向けて、何をしていくかを話し合った。その結果、今年は履物の掘り出し市・昔懐かしのゴム鉄砲を行う事に決定した。しかし、今年は商人市が台風のため開催する事が出来ず、だいどこ市で行う事となった。だいどこ市は商人市みたいに大きいイベントではなく、地元の人達だけ行う小さなイベントである。だいどこ市本番では、昔懐かしゴム鉄砲は、昔懐かしのはずが子供に人気があった。履物の掘り出し市では、多くの人が懐かしいと立ち寄っていただき、多くの履物が売れた。だいどこ市という事で、そんなに多くの人はい集まらないだろうと思っていたが、当日は多くの人達が来ていて、地域のコミュニティの力を感じた。最近、カフェや飲食店・雑貨屋・民宿施設などが出来てきて、2017年6月には、河崎は伊勢市の景観重点地区に追加され、8月にはレンタサイクル10台が寄贈されて、ますます盛り上がりを見せている。しかし、盛り上がりの反面、河崎を知らない人もまだ多いように感じる。今後、情報発信を継続していく事が大事である。また、今回の活動で空き家調査をしたので、空き家バンクを活用してみるのもありではないだろうか。さらに、お店などにアンケート用紙などを用意して、河崎に来る顧客層を調査しておかねばならない。



特にアピールしたいポイント



河崎に携える。(まちづくりが盛ん)

→ http://www.esri.go.jp/jp/prj/mytown/suisho/su_04_0506_01.html



古い町並み(景観重点地区)

→ <http://www.isenp.co.jp/2017/06/13/4194/>



商人蔵を活用したリノベーション



活動実施主体: 伊勢まちづくり会社
担当教員: 池山 敦(教育開発センター)